

東海第二原発は廃炉に!

“再稼動に向けた防潮堤の基礎工事は欠陥だらけ”

2024年の秋には再稼動させようと必死になって工事を進める日本原電。でもあまりにも杜撰な工事。もともと老朽化している原発です。安全性は確保されません。廃炉以外はありません。

「東海第二原発の再稼動を許さない」首都圏大行動が日本教育会館で700人の市民を集めて催されました(2023年11月18日)。

小出裕章さんは、まず最初に広島の前爆で燃えたウランは800g(死の灰800g)、100万kwの原発1基が1年間に燃やすウランは1t(死の灰1t)と。そして地球上のマグニチュード7以上の地震が起こっている地帯は環太平洋と中国から地中海にかけてであり、その地震地帯に原発を57基も作っているのは日本だけ。といった事実を示し“原発をやめるべき”と訴えました。

東電も国も「原発事故は絶対に起きない」と原発の安全神話を語り続けたが、福島第一原発事故が起きたら「想定外」だと言い“責任”も取らないと批判。

福島原発事故でおこったことは、①地震・津波で救助を待っていた人々が多くいたが原発事故で立ち入り禁止、助けられなかった②15万人以上が強制避難させられる(生活が壊れる)③放射線管理区域の値のうち100万人の人々が置かれ被曝され続けて13年④強欲な人間のため多くの家畜が餓死した。などなどと指摘。



小出裕章さん

生活そのものが壊されてしまったのに、その加害者である東電と原発政策を進めた国は誰一人として謝罪していない。責任も取っていない。

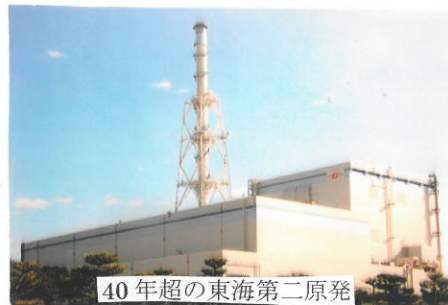
それどころか原発作って大もうけ・除染作業で大もうけ・そして復興事業で巨大な利益を得ている原発事業者・原子力村=原子力マフィアはひどすぎると怒りをもって批判しました。

原発は即やめるべきなのに、この13年間で原子力マフィアは“責任取らない、会社は倒産しない、大もうけできる、国民は忘れてしまう”ということを読み再び「再稼動・新規原発建設」(岸田政権のGX)へまい進していると、3・11の「原子力緊急事態」が続いている中での異常さを指摘。

東海第二原発については、老朽化した原発で再稼動したら危険がいっぱいと指摘。圧力釜は被曝劣化している(だから40年間として設計した)。40年たってるので劣化を知るために炉内に入れてある“試験片”はもう東海第二原発にはない。劣化の程度を知ることが出来ない状況でこれから20年以上稼動するのは・・・

更に電気系統も配線も弁も劣化しているのだから一刻も早くやめるべきと。

2021年3月18日水戸地裁で「東海第二原発は深層防護の第5層の避難計画が



40年超の東海第二原発

出来ていない。30km圏内の人々の人格権が侵害されるから運転してはいけない」との判決が出ました。日本原電が控訴したので高裁での訴訟では訴訟団は防護第 1～4 の不十分性も又 30km圏外の人々の人格権侵害も主張していくとのこと。

最後に小出さんは「避難計画」は「ふるさと喪失計画」だ。出来もしない計画を形だけつくらせようとしている。又、現在進行している防潮堤の工事不良・基礎岩盤に届いていない基礎工事の問題点を指摘し、再稼動は絶対にやめるべきと訴えました。

いわき市の鴨下美和さんからは、避難指示区域外のために“避難生活の厳しさ”が訴えられました。いわき市が 2011 年 3 月 16 日に 23 μ s/h の放射線量があったのに汚染状況の地図に載っていない理由が、なんと国がその地域を測定していなかったためといった国の不作為の被害をもろに受けてしまっている状態が明らかにされました。国の責任を問いつけていくことの厳しさも訴えられました。

東海村元村長村上さんは、村長のときの JCO 臨界事故で日本政府が安全性についてまったく何も対応体制をとっていないことがわかり、それから原発ストップの考えになったと。



村上元村長

東海村の現状についても語りました。東海村村議会議員 18 人のうちわけは日立・原電・旧動燃・旧原研・三菱核燃から各一人、商工会保守系 4 人、公明 2 人、共産 1 人、無所属 4 人、(欠員 1 人)なので、「原子力問題調査特別委員会」で再稼動賛成請願 2 件を採択に。再稼動反対請願 2 件は不採択と。(12/15 村議会本会議で採択か?)

山田村長は避難計画を年内目標で公表すると前のめり。障がい者や高齢者のことは考えず、再稼動に反対の村民は排除し独断で決めようとしているとのこと。

岸田政権の GX=再稼動・新規原発建設と経済界がこれまで以上に鋭い刃を突きつけてきているのだから、目に見える鋭い反対運動をやらなければと訴えました。そして再稼動反対の“行進”が必要だと会場に集まった市民に行動提起しました。

茨城県議会議員井尻さんからは東海第二原発の防潮堤工事の不都合が報告されました。防潮堤の“取水口”部分の地中連続壁の南側は『コンクリートが未充填・鉄筋の変形の不良工事』があり、北基礎は『岩盤に到達していない高止まりの宙ぶらりん状態』とのこと。



この事実を原電は知っていながら江尻県議に迫及されるまで明らかにしなかった(またまた嘘つき原電です)のです。

問題の多い東海第二原発の再稼動は許せません。即廃炉です!

集会のあと神田の街を「東海第二原発再稼動反対」「老朽原発動かすな」「フクシマ汚染水流すな」と声を上げデモ行進しました。